

令和7年度

伊予市がんばる地域コミュニティ応援事業

活動報告書



令和7年度活動報告書

団体名	代表者	設立
いよあかり	須賀 弥生	令和4年6月10日

事業名

竹を活用したこどもたちの居場所づくり

今年度の事業内容

- 令和6年 6月 3日 地域活性イベント「三秋ほたる鑑賞会」
- 令和6年 7月25日 台湾より来県していた大学生との竹あかりづくり交流会
- 令和6年 8月 3日 環境教室「夏休み企画 親子で竹ランタンづくり」
- 令和6年 8月10日 町家・三秋フェアにて竹あかり、竹ランタン展示販売
- 令和6年 8月19日 中山・野中地区 夏祭り盆踊りにて竹あかり展示
- 令和6年 8月30日 中山地区/せんべろ横丁にて竹あかり展示、及び出店
- 令和6年10月19日 双海町本谷地区にて、地域を彩る大型竹あかりの製作
- 令和6年10月19日 アートベンチャーエヒメフェス2025に合わせて
 ~11月 30日 森林公園にて大型竹あかり、及び竹ランタン展示
- 令和6年11月22日 大洲市にて地域の子どもたちと竹あかりづくり
- 令和6年12月14日 民生委員主催ふれあいの会にて、体験活動応援及び、竹あかり展示
- 令和7年 2月28日 体験活動「生地から手作り石窯ピザ体験」



自由記載(今後の事業展開や課題など)

いよあかりは、子ども達の「やってみたい」を応援したい、その場所づくりをしたいという思いから設立しました。伊予市から発信できるもので、地域の人や子ども達が世代を超えて繋がり、自分の街を好きになってもらえるような活動を目指しています。

私たちは、毎年テーマをもって活動してきました。初年度は「やってみたいを応援」同じ目線でワクワクしながら大人も楽しんでいいんだ。という気づき、2年目は「共に楽しむ」もっと多くの人にこの感動体験を広げたい、と思い、3年目は「繋がり、広がる人々の輪」少しづつ知っていただけるようになり、私たちが伝えそれをそれぞれの団体の方たちが変容させていけたら素敵だと思い、今年度は、「広がり、響きあい、それぞれのカタチへ」というテーマのもと、活動を行ってきました。

どの活動も日常にないような体験で、みなさん感動したり、発見したりと価値のある経験となりました。他の地域にも足を運び、その地域のみなさんと竹あかりを作ったり、その竹あかりが防災に役にたったりと、いろんな可能性が広がり、ワクワクしています。老若男女、健聴者、聾者関係なく、伊予市に住む多様なひとたち、伊予を訪れる人たちが夢中になり、楽しみ、交流できる場となれたこと、そして、新たなつながりもでき、いよあかりの仲間が増え、いよあかりの良さを伝え合える仲間ができたことを嬉しく思います。

私たちができるのは小さな活動ではありますが、分け隔てなく、共に楽しめるそんな社会づくりのひとつになったらいいなと思います。共に楽しむ幸せ時間、幸せが増えれば、心も満たされ、家族や周りの人とも幸せを分かち合える。そして、それが地域、社会にも繋がり広がって明るい未来に繋がる。誰しもが、ありのままの自分でいられる場所づくり、こどもも大人も同じ目線で楽しめるようなさまざまな体験活動を通して支援していきます。

「いよあかり

人々の心に寄り添い 地域を照らす灯りでありたい

世代を超えて繋がろう

みんなの居場所を見つけよう」



私たちは、これからもこの想いと共に頑張っていきます。

最後まで読んでいただき、ありがとうございます。



令和7年度活動報告書

団体名	代表者	設立
地域新聞みあき	原田 浩明	2016年10月
事業名		
地域資源で経済を回そうプロジェクト		
今年度の事業内容		
令和7年5月8日 令和7年6月7日 令和7年8月10日 令和7年8月23日 令和7年10月26日 令和7年11月23,24日 令和7年12月20日 令和8年2月21日	タケノコジャーキーの試作 ホタル観賞会（「いよあかり」さんとのコラボ活動） 三秋フェア2025 in 町家（町家にて三秋のPR活動） 第15回わくわく体験デイキャンプでの協力 レンコン収穫祭2025（タケノコジャーキーおにぎり販売） 第7回みあき集落活性化イベント「レンコン収穫体験会」 SAZANAMI マルシェ出店（タケノコジャーキーパック販売） シン経営塾ドリーム&パワー定例会ゲスト講師 （タケノコジャーキー試食意見交換）	
		
課題		
<ul style="list-style-type: none"> ・『ジャーキー・チェーン』（タケノコジャーキー）の常時販売に向けた生産体制の構築 ・タケノコジャーキーのブラッシュアップ ・上記2点を実行するための活動資金の確保 		
今後の事業展開		
<ul style="list-style-type: none"> ・三秋産レンコンを使ったジャーキーの開発 ・ふるさと納税の返礼品に向けた商品開発 ・タタタハウスでのプレ販売 		
		 <p data-bbox="1182 1809 1337 1854">公式ホームページ</p>



令和7年度活動報告書

団体名	代表者	設立
夕照拓道を活用した桜景色づくりの会	大崎 正俊	令和5年4月1日

事業名

夕照拓道を活用した桜景色づくり

今年度の事業内容

10月19日（日）

8時から地元住民で中間道の溝清掃から開始して、9時からボランティアが合流し、桜周辺の雑草除去等（テント設置、いのしし檻の移動）を行う。12時前後に各グループごとに中華そばで昼食をとる。

水仙・菜の花ではなくコスモス（秋桜）にしたのは、失敗でした。夏の暑さが厳しかったのと、コスモスの花のために草刈りができなかったので雑草が繁茂して、とてもひどいことになってしまった。今後は、変更と再考の必要あり。

午後から自由参加で竹あかりづくり、モルック練習、みかん狩り。

あいのわさんにお世話になった中華そばは、好評であり、来年は本谷から大久保地区に拡大して公民館事業のひとつにして広報してみたい。

竹あかりと写真パネルを11月3日の公民館まつりに展示参加（本谷ブース）



自由記載（今後の事業展開や課題など）

3月15日、山桜20本植樹予定。

遺跡までの山道整備と以前の桜の管理、養生等の作業

甘夏みかん狩りとモルック、足ふみ竹作りで交流。

空き家の活用による地域内外の交流をどのように展開したらいいか、アイデアがない。

本谷の奥が杉林に変わってしまった。棚田が遺跡のように残っているのを活用していきたい。



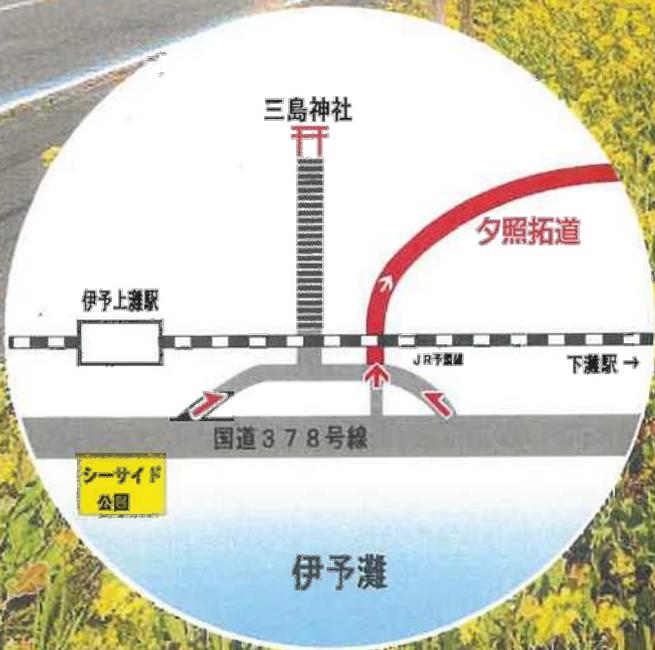
双海の絶景ポイント

電動アシスト自転車で

夕照拓道へ行こう！

夕照拓道（市道）からの絶景ポイントを探して情報発信してください！
皆様からの投稿お待ちしております。

アクティビティ(トレッキングルート)計画中♡



月ごとの日の入り時刻（目安）

1月	2月	3月
17:10頃	17:40頃	18:00頃
☺	☺	☺
17:40頃	18:10頃	18:30頃
4月	5月	6月
18:30頃	18:50頃	19:10頃
☺	☺	☺
18:50頃	19:20頃	19:30頃
7月	8月	9月
19:10頃	18:40頃	17:50頃
☺	☺	☺
19:30頃	19:10頃	18:40頃
10月	11月	12月
17:15頃	17:00頃	17:00頃
☺	☺	☺
18:00頃	17:20頃	17:15頃

令和7年度活動報告書

団体名	代表者	設立
伊予ドローンクラブ	石井 正人	2025年4月
事業名		
いよそらドローンベース		
今年度の事業内容		
<p>(1) ドローン練習会の実施 開催回数：21回（屋内19回・屋外2回） 内容：操縦技術向上練習、航空法および飛行ルール講習 → 継続的な練習体制を構築し、会員の技術向上と安全意識の定着を図った。</p> <p>(2) ドローン体験会の開催 開催回数：6回 参加者数：8名 入会者数：5名 内容：初心者向け操縦体験、安全説明、ドローンの基礎知識紹介 → 参加者への理解促進と新規会員の獲得につながった。</p> <p>(3) 地域イベントでの体験ブース出展 開催回数：1回 会場：伊予市上吾川（餅つき大会会場） 内容：ドローンミニゲーム体験 → 地域行事と連携し、幅広い世代にドローン体験の機会を提供。団体の認知度向上に寄与した。</p> <p>(4) ドローン空撮の実施 実施回数：4回 内容：伊予市内風景の撮影 → 地域の魅力を上空視点で記録し、今後の情報発信素材として活用予定。</p>		
		
自由記載（今後の事業展開や課題など）		
<p>今後は定期練習会と体験会を継続し、安全なドローン活用の普及と若年層育成を図る。 地域イベントとの連携を強化し、空撮を通じた地域魅力の発信を進める。 また、農業分野における農薬散布など実用的活用の可能性を検討する。 運営体制の強化・新規機体の導入・機体維持管理費の確保が今後の課題である。</p>		



伊予ドローンクラブ

会員
募集

はじめよう、ドローンで広がる空の趣味!



ドローンに興味がある人、集まれ！
初心者も・経験者も・子ども也大歓迎！



伊予市上空の景色



ドローンでミニゲーム

親子で一緒に「空の楽しさ」を体験しませんか？

ドローンは、子どもから大人まで一緒に楽しめる新しいホビーです。ボタンを押すとふわりと浮かび上がり、空を自由に進むその姿に、誰もが思わず「すごい！」と顔を輝かせます。



港南中学校サブアリーナをお借りしています

毎月練習会を開催中
体験会も随時募集！！
お気軽にご連絡ください

お問い合わせ：伊予ドローンクラブ
メールまたはホームページからお問い合わせください。
Email: iyodroneclub@gmail.com

<https://iyodrone.lsrv.jp/>

検索 伊予市 ドローン



令和7年度活動報告書

団 体 名	代 表 者	設 立
愛媛県立伊予農業高等学校 国際教育部	小松 葵 (R7 年度部長)	2003 年 4 月 1 日 (前身の国際教育研究部は 1987 年)

事 業 名

住みた IYO 市プロジェクト！～多文化交流からの多文化防災～

今年度の事業内容

1 事業の動機と目的・仮説

外国人労働者が増加する中、2 年前から外国人防災に取り組んでいる。昨年の伊予市文化祭で防災イベントを出店するも、外国人の参加者はなく、地域とのつながりのなさを実感。同年着任した本校 ALT ジゼル先生も、災害時の避難所生活に強い不安を持っていた。「つながりこそが最大のレジリエンス(回復力・再生力)」という言葉との出会い。普段からのつながりこそが災害時の共助に結び付くと確信。そのつながりが、ひいては外国人にとっても「住みよい/住みたい伊予市」へとつながっていくことを目指す。

2 具体的方法

- 多文化交流等の活動に参加して、自分たちが在県外国人とつながり、理解を深める。
- 「おいしい」「たのしい」多文化交流イベントを企画・運営し、地域住民の方々に、それを「知ってもらう」「見てもらう」、それに「参加してもらう」ことで、つながりのきっかけを作る。
- 防災ワークショップへの参加、防災自主研修
- 交流のキーパーソンは、ジャパンネシアハウス UMI さん、本校 ALT ジゼル先生

3 事業実績（主な活動）

- (1) 自分たちが在県外国人とつながる活動
 - ・ジャパンネシアハウス UMI 主催、多文化食堂(5月)、スポーツフェス(6月、11月)など参加
 - ・「Hello, Neighbor!～近くて遠い国と隣でつながる交流イベント」、「つながる防災フェスタ」参加
- (2) 在県外国人と地域住民をつなぐきっかけとなる活動
 - ・多文化そうめん流し企画（7月26日、27日）*写真1
 - ・伊予彩まつり「伊予おどりパレード」エントリー（7月26日）*写真2
 - ・「多文化おいしいSUMMIT with プチ防災」企画（9月15日）*写真3
 - ・いよし市民総合文化祭あおぞらテント村で「多文化テント」出店（11月2日）*写真4

4 事業の成果

- 地域住民と伊予市等在住外国人とのつながり構築のきっかけ作りに貢献
- 多文化共生社会に向けた、新たな学びや気づきの発見、外国人理解
- 地域行事の活性化（外国人の参加）、外国人の地域への関心の高まりや理解地域理解に貢献

写真1



写真2



写真3



写真4



自由記載（今後の事業展開や課題など）

- 今年度築いたつながりを今後どう継続・深化展させていくか、伊予市在住の外国人との新たなつながりをどう築いていくかが課題。
- 「おいしい」「たのしい」交流活動に、防災の要素を更に盛り込み、意見を交換したり一緒に考えたりする活動も工夫していきたい。



令和7年度活動報告書

団体名	代表者	設立
双海町ジュニアリーダー会	中島 ヒカル	平成23年4月1日
事業名		
双海町憩いのフォトスポット事業		
今年度の事業内容		
<p>今年度は、まず10月19日（日）に当事業の実施場所となる本谷地区の公民館活動に参加した。当日は、地区内の清掃活動やミカン狩り、モルック体験などを通じて地域の方々や他団体との交流を深めた。また、「いよあかり」の皆さんご指導のもと、竹灯籠づくりも実施した。当日はフォトスポット事業にて描く予定の空き家の見学も行い、事業実施に向けてイメージを膨らませる機会ともなった。</p> <p>2月19日（木）には当事業にて描く絵のコンペティションを開催した。双海町ジュニアリーダー会の会員に加えて本谷地区公民館の館長、双海町子ども教室実行委員会会長、制作でお世話になる北風建設の北風氏、伊予市の JICA グローカルプログラムで絵に関する活動もされている堂本氏にもお越しいただき、それぞれの立場からご意見いただきコンペティションでも投票いただいた。当日参加した会員には絵に込めた思いも発表してもらい、地域について考えたことを発信する機会にもなった。</p> <p>今後の活動としては3月8日（日）、3月14日（土）、3月20日（金）、3月26日（木）、3月29日（日）の日程で実際に絵を描き、設置の準備が整い次第描いた絵を空き家に設置する予定としている。設置時には本谷地区の方々にも来ていただき、地域へのお披露目の場とするとともに、地域内の多世代交流の場にもしていきたい。</p> <p>来年度以降は、今年度制作した壁画および令和6年度までに当会で設置した19基のベンチのフォトスポット化を含めた活用について考え行動していきたい。また、今年度ともに活動をした各団体とのつながりを大事にして、新たな活動にも繋げられればと考えている。</p>		
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">    </div>		
自由記載（今後の事業展開や課題など）		
<p>今後は、今年度制作した壁画および令和6年度までに制作・設置したベンチの維持及び管理をするとともに、それぞれの活用について話し合いをすすめるフォトスポットとして利用されるような事業を展開していきたい。</p>		

